

セルフジャッジと観戦マナーについての心得

“^{すべ}全てのプレーヤーの^{ため}為の^{かんきょうづく}環境作り^{きょうりよく}にご^{ねが}協力^{いた}をお願いします”

- ^{きそく}テニス規則^{たいかいきそく}や大会規則^{りんりきてい}、^{しゃかいてきじょうしき}倫理規定(社会的常識)^{りかい}を理解しておきましょう。
- ^{しあいちゅう}試合中の^{おお}ジャッジ^{こえ}や^{あいて}コール^{つたえ}は^{あいてせんしゅ}大きな声^きで相手に^き伝え、相手選手^きのコールが聞こえない場合は^{ばあい}お互いに^{たが}確認^{かくにん}し合^あいましょう。(スコアの^き記憶^{おくちが}違^{ぼうし}いを防止^{ため}する為)
- ※^{たが}お互い^{かくにん}が^{げんいん}確認^{げんいん}をしていないと、トラブルの原因となります。
- ^{どうじ}アウト、^{おこな}フォールトは^{すこ}コールだけでなく、^{どうじ}ハンドシグナルも^{おこな}同時^{すこ}に行い、^{すこ}ラインに^{すこ}少しでも^{すこ}かかっている場合は^{ぼあい}セーフ^{めいかく}となり、^{はんだん}明確な判断^{でき}が出来ない場合^{ぼあい}も同様^{どうよう}です。
- ^{あいて}相手^{れい}プレーヤーへ^{しゅうりょうご}礼^{けっか}をつくし、^{かか}終了^{かんしゃ}後は^い結果^{あらわ}に関わらず^{あらわ}感謝^{あらわ}の意^{あらわ}を表^{あらわ}しましょう。
- ^{かんせんちゅう}観戦中の^{とう}ラインジャッジ^{はんてい}等の^{たい}判定^{くちだ}に対し^{ひか}口^{ひか}出し^{ひか}することは^{ひか}お控^{ひか}え^{ひか}ください。
- ^{しあいちゅうおよ}試合中^{かんせんちゅう}及び^{ぼうげん}観戦中^{きょうはくてきこうい}に、^{あいてせんしゅ}暴言^{いちじる}や^{ひぼう}脅迫^{げんどう}的行為^{げんどう}で相手選手^{げんどう}を^{げんどう}著^{げんどう}しく^{げんどう}誹^{げんどう}謗^{げんどう}する言動^{げんどう}が^{げんどう}あつた場合は、^{ぼあい}倫理規定^{りんりきてい}を^{てきおう}適^{ぼあい}応^{ぼあい}する場合^{ぼあい}もあります。

“^き気が^{てん}かりな^{たいかいほんぶ}点は、ローピングアンパイア^{たず}や大会本部^{くだ}までお尋^{くだ}ね^{くだ}下さい”